

2011年度入学試験（推薦入学A日程・11月13日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

英語は「幼児から学ばせるべきだ」という考えと「それは間違っている」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。
なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・子どもは臆することがないので、すぐに外国人と話すようになる。
- ・子どもはまだ考えを組み立てる力が弱いので、外国語を習うと考えることは定まらなくなってしまう。
- ・子どもは記憶する能力が高いので、小さい頃からいろいろなことを覚えさせるのがよい。
- ・子どもは経験を通して体で覚えることが望ましいので、いろいろな遊びを体験させるべきである。
- ・日本人として、日本に伝わる文化を理解させることが先決である。
- ・外国語がわかればいろいろな考えを聞くことができるので、考え方の幅が広がる。

2011年度入学試験（推薦入学B日程・12月12日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

幼稚園や小学校などで、子どもに「給食を用意するのが望ましい」という考えと「それは間違いである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として教える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・ 子どもには「食育」が必要なので、給食によってそれを進めることが望ましい。
- ・ 子どもは一人ひとり体質が違うので、子どもにあった食事は各家庭で用意するのが望ましい。
- ・ 子どもには家庭の愛情のこもったお弁当を用意することが、心の発育のためにも望ましい。
- ・ 家庭によっては、子どもに食事をきちんと用意できないこともあるので、誰もが食事ができるように給食を用意すべきである。
- ・ 食事のしつけは家庭ですべきことであり、何もかも教育機関に任せるのは間違いである。
- ・ 給食をみんなで食べるという経験が、食事の楽しみを味わわせたり、好き嫌いを無くしたりすることにつながる。